

コンベンション個別事例経済効果測定報告書

目 次

調査概要	3
「全国規模」 経済効果推計結果	4
直接的経済効果(最終需要)	
参加者関連による消費支出総額	5
主催者関連による消費支出総額	6
間接的経済効果(生産誘発効果)	7
その他の間接的経済効果(所得形成効果)	8
その他の間接的経済効果(税収増大効果)	9
その他の間接的経済効果(雇用創出効果)	10
用語の説明・測定における留意事項	11
アンケート調査用紙	12
	13

概要

1, 目的

コンベンションがもたらす経済効果を測定し、実際にどの程度の経済波及効果があるかを示すことにより、行政、民間各分野の理解、協力を得られる環境をつくる。また、参加者の傾向を把握することで、支援体制づくりの基礎資料としコンベンション都市づくりの指針を得る。

2, 対象コンベンション

大会名	会場	会期	参加者数(人)	配布数	回収数	回収率(%)
全体会	さいたまスーパーアリーナ	2002.8.24	17,000	3,957	460	11.6
分科会	大宮ソニックシティ	2002.8.23	1,429	1,429	311	21.8
分科会	さいたま市文化センター	2002.8.23	1,350	1,350	151	11.2
分科会	埼玉会館	2002.8.23	754	754	213	28.2
合計			20,533	7,490	1,135	15.2

3, 調査方法

各大会会場受付にてアンケート用紙を配布、もしくは大会主催者より受付にて資料とともに配布。その後会場出口に備え付けた回収箱への投函により回収する。

4, 調査項目

- ・ 参加者の住所、性別、年齢、訪市回数
- ・ 滞在期間、宿泊施設、
- ・ 市内観光の有無
- ・ 交通手段（さいたま市までのアクセス、さいたま市内でのアクセス）
- ・ 大会参加経費

経済効果測定結果

経済効果額総計		216,812,042 円
直接的経済効果額計		77,040,448 円
	参加者による消費支出額	55,107,920 円
	主催者による消費支出額	21,932,528 円
間接的経済効果額計		139,771,594 円
	生産誘発効果額（一次＋二次）	139,771,594 円
	一次生産誘発額	97,927,352 円
	(一次生産誘発による付加価値額)	(44,495,460) 円
	(新たな民間消費支出)	(41,380,778) 円
	二次生産誘発額	41,844,242 円
その他の間接的経済効果額		
	所得形成効果額	44,238,304 円
	一次所得増加額	32,940,358 円
	二次所得増加額	11,297,945 円
	税収増大効果額	1,332,035 円
	個人税収増大効果額	884,766 円
	法人税収増大効果額	447,269 円
	雇用創出効果	14.73 人
	一次雇用創出効果	11.80 人
	二次雇用創出効果	2.93 人
生産誘発率（生産誘発効果額／直接的経済効果額計）		1.81

参加者 1 人あたりの経済効果額		12,754 円
	直接的経済効果額	4,532 円
	間接的経済効果額	8,222 円

直接的経済効果（最終需要）

効果額 = 77,040,448 円

直接的経済効果 = 1. 参加者関連による消費支出総額 + 2. 主催者関連による消費支出総額

1. 参加者関連による消費支出総額

支出総額 = 55,107,920 円

参加者関連による消費支出総額 = (2) 宿泊者消費金額 + (3) 日帰者消費金額

(算出)

(1) 宿泊者数および日帰者数

	参加者数(人) ア	宿泊者数(人) イ	日帰者数(人) ウ(ア-イ)
参加者数(人)	17,000	2,000	15,000

注：参加者ア・イ = コンベンション参加者アンケート調査結果より

(2) 宿泊者消費金額

	宿泊者数(人) イ	1人あたり消費金額(円) エ	消費金額推計(円) オ(イ×エ)
宿泊費	2,000	6,828.064	13,656,128
飲食費	2,000	6,095.9145	12,191,829
市内交通費	2,000	1,233.9075	2,467,815
土産購買費	2,000	4,137.833	8,275,666
遊興娯楽費	2,000	2,099.112	4,198,224
その他	2,000	965.808	1,931,616
計	—	21,360.6390	42,721,279

注：1人あたり消費金額 エ = コンベンション参加者アンケート調査結果より

(3) 日帰者消費金額

	日帰者数推計(人) ウ	1人あたり消費金額(円) カ	消費金額推計(円) キ(ウ×カ)
飲食費	15,000	314.242	4,713,632
市内交通費	15,000	182.770	2,741,543
土産購買費	15,000	215.0995	3,226,493
遊興娯楽費	15,000	52.2388	783,582
その他	15,000	61.4262	921,393
計	—	825.77613	12,386,642

注：1人あたり消費金額 カ = コンベンション参加者アンケート調査結果より

(4) 参加者(宿泊者+日帰者)の消費金額合計

	宿泊者消費金額合計(円) オ	日帰者消費金額推計(円) キ	消費金額推計(円) ク(オ×キ)
宿泊費	13,656,128	—	13,656,128
飲食費	12,191,829	4,713,632	16,905,461
市内交通費	2,467,815	2,741,543	5,209,358
土産購買費	8,275,666	3,226,493	11,502,159
遊興娯楽費	4,198,224	783,582	4,981,806
その他	1,931,616	921,393	2,853,009
計	42,721,279	12,386,642	55,107,920

2. 主催者関連による消費支出総額

支出総額＝ 21,932,528 円

		内容	消費支金額(円)
宿 泊 費	参加者		441,777
飲 食 費	関係者飲食費、参加者レセプション等		622,222
市 内 交 通 費	出発から現地含まず		622,222
土 産 購 買 費	参加者記念品、お土産		66,666
遊 興 娯 楽 費	アフターコンベンション、アトラクション等		133,333
会 場 費	会場利用費		2,150,155
事 務 局 費	事前会議費、事務用品費		382,222
運 営 管 理 費	翻訳、翻訳関連、速記、警備等		155,582
会 場 設 備 工 事 費	看板制作、会場設営等		9,194,701
機 材 レ ン タ ル 費	電話、OA機器、同時通訳機器、AV機器		164,444
印 刷 製 本 費	広報資料作成費、会議資料作成費		2,011,049
運 送 ・ 輸 送 費	タクシー、バス借、観光視察輸送代等		285,933
臨 時 雇 用 費	受付、事務局スタッフ		1,111,111
そ の 他			4,591,111
計			21,932,528

注：消費支出金額＝コンベンション主催者アンケート調査結果より

間接的経済効果（生産誘発効果）

効果額 = 139,771,594 円

間接的経済効果(生産誘発効果) = 1. 一次生産誘発効果 + 2. 二次生産誘発効果

1. 一次生産誘発効果

効果額 = 97,927,352 円

	最終需要額(円) A	生産誘発係数 B	一次生産誘発額(円) C(A×B)
商 業	11,568,825	1.25	14,461,031
運 輸 業	6,117,513	1.34	8,197,467
対 事 業 所 サ ー ビ ス 業	17,610,220	1.24	21,836,673
対 個 人 サ ー ビ ス 業	41,743,891	1.28	53,432,180
計	77,040,448	—	97,927,352

注：最終需要額 A = 直接的経済効果（最終需要額）を支出先産業別に 4 部門に分類

：生産誘発係数 B = 逆行列係数列和(平成7年埼玉県産業連関表より)

2. 二次生産誘発効果

効果額 = 41,844,242 円

(算出)

(1)一次生産誘発額から生じた付加価値額

価値額 = 44,495,460 円

	一次生産誘発額(円) C	付加価値率 D	付加価値額(円) E(C×D)
商 業	14,461,031	0.56	8,098,178
運 輸 業	8,197,467	0.40	3,278,987
対 事 業 所 サ ー ビ ス 業	21,836,673	0.44	9,608,136
対 個 人 サ ー ビ ス 業	53,432,180	0.44	23,510,159
計	97,927,352	—	44,495,460

注：付加価値率 D = (雇用者所得 + 営業余剰) / 生産額(平成7年埼玉県産業連関表より)

(2)新たな民間消費支出額

支出額 = 41,380,778 円

	付加価値額(円) E	消費性向 F	民間消費支出額(円) G(E×F)
計	44,495,460	0.93	41,380,778

注：消費性向 F = 民間消費支出(内生部門) / 雇用者所得(内生部門) + 営業余剰(内生部門)

(3)二次生産誘発額(誘発効果額)

誘発額 = 41,844,242 円

民間消費支出額(円) G	最終需要生産誘発係数 H	逆行列係数列和平均 I	二次生産誘発額(円) J(G×H×I)
41,380,778	0.79	1.28	41,844,242

注：最終需要生産誘発係数 H = 最終需要項目別生産誘発係数(民間消費支出部門の合計値)

：逆行列係数列和平均 I = 全産業における逆行列係数列和の平均値

3. 生産誘発効果額総計(一次+二次)

総計 = 139,771,594 円

	一次生産誘発額(円) C	二次生産誘発額(円) J	生産誘発効果額総計(円) K(C+J)
計	97,927,352	41,844,242	139,771,594

その他の間接的経済効果（所得形成効果）

効果額 = 44,238,304 円

その他の間接的経済効果（所得形成効果） = 1. 一次生産誘発効果による所得増加額

+ 2. 二次生産誘発効果による所得増加額

1. 一次生産誘発効果による所得増加額

効果額 = 32,940,358 円

	一次生産誘発額(円) C	雇用者所得率 L	一次所得増加額(円) M(C×L)
商 業	14,461,031	0.47	6,796,685
運 輸 業	8,197,467	0.34	2,787,139
対 事 業 所 サ ー ビ ス 業	21,836,673	0.36	7,861,202
対 個 人 サ ー ビ ス 業	53,432,180	0.29	15,495,332
計	97,927,352	—	32,940,358

注：雇用者所得率 L = 雇用者所得 / 県内生産額(平成7年埼玉県産業連関表より)

2. 二次生産誘発効果による所得増加額

効果額 = 11,297,945 円

	二次生産誘発額(円) J	全産業雇用者所得率 N	二次所得増加額(円) O(J×N)
計	41,844,242	0.27	11,297,945

注：全産業雇用者所得率 N = 全産業雇用者所得合計額 / 全産業県内生産額合計

3. 所得形成効果額総計(一次+二次)

総 計 = 44,238,304 円

	一次所得増加額(円) M	二次所得増加額(円) O	所得形成効果額総計(円) P(M+O)
計	32,940,358	11,297,945	44,238,304

その他の間接的経済効果（税収増大効果）

効果額 = 1,332,035 円

その他の間接的経済効果(税収増大効果) = 1. 個人からの税収増大効果額
+ 2. 二次生産誘発効果による雇用創出効果

1. 個人からの税収増大効果額

効果額 = 884,766 円

	所得形成効果額(円) P	税収係数 Q	個人税収増大効果額(円) R(P×Q)
計	44,238,304	0.02	884,766

注：税収係数 Q = 個人市民税調定額 / 雇用者所得額

2. 法人からの税収増大効果額

効果額 = 447,269 円

	生産誘発効果額(円) K	税収係数 S	法人税収増大効果額(円) T(K×S)
計	139,771,594	0.0032	447,269

注：税収係数 S = 法人市民税調定額 / 算出額

3. 税収増大効果額総計（個人+法人）

総計 = 1,332,035 円

	個人税収増大効果額(円) R	法人税収増大効果額(円) T	税収増大効果額総計(円) U(R+T)
計	884,766	447,269	1,332,035

その他の間接的経済効果（雇用創出効果）

効果 = 14.73 人

その他の間接的経済効果(雇用創出効果) = 1. 一次生産誘発効果による雇用創出効果
+ 2. 二次生産誘発効果による雇用創出効果

1. 一次生産誘発効果による雇用創出効果

効果 = 11.80 人

	一次生産誘発額(円) C	就業係数 V	雇用創出効果(人) W(C×V)
商 業	14,461,031	0.00000016	2.31
運 輸 業	8,197,467	0.00000007	0.57
対 事 業 所 サ ー ビ ス 業	21,836,673	0.00000009	1.97
対 個 人 サ ー ビ ス 業	53,432,180	0.00000013	6.95
計	97,927,352	—	11.80

注：就業係数 V (平成7年埼玉県産業連関表より)

2. 二次生産誘発効果による雇用創出効果

効果 = 2.93 人

	二次生産誘発額(円) J	就業係数平均 X	雇用創出効果(人) Y(J×X)
全 産 業	41,844,242	0.00000007	2.93

注：就業係数平均 X (平成7年埼玉県産業連関表より)

3. 雇用創出効果総計（一次+二次）

効果 = 14.73 人

	一次雇用創出効果(人) W	二次雇用創出効果(人) Y	雇用創出効果総計(人) Z(W×Y)
計	11.80	2.93	14.73

用語の説明

(直接的経済効果)

コンベンション開催に伴い発生する直接的支出（主催者および参加者が直接消費する支出）を総計したものの。

(間接的経済効果)

直接的消費支出により新たに発生した需要に応えるために、各産業が原材料やサービスの生産活動

(産業連関表)

一定地域において一定期間（通常1年間）に行われた生産物（財貨・サービス）の産業間の取引、

(一次生産誘発額)

コンベンションに関連した消費支出は、各種産業の生産を誘発していく。参加者や主催者による物やサービスの消費は、経済循環によって当初の需要を上回る中間生産物の生産をもたらす。その総

(二次生産誘発額)

一次生産誘発額からサービス産業が粗付加価値を生じ、そのうちの付加価値（雇用者所得+営業余剰）からさらなる消費が生まれ、全産業に新たな需要を生み出す。その総額。

(所得形成効果)

コンベンションによる一次生産誘発効果および二次生産誘発効果によって、生産額の増加と同時に、雇用者に対し所得の増加をもたらす効果。

(税収増大効果)

生産誘発効果によりもたされた雇用者所得および生産誘発額の増加によって、それぞれ個人および企業の所得が増加となり、税収の増加に結びつく効果。

(雇用創出効果)

域内での消費支出によってもたされた生産誘発効果によって、その効果がおよぶ産業に雇用機会の増加を引き起こす効果。

測定における留意事項

- ① 本調査は、日本コンgressコンベンションビューロー（JCCB）が示す経済波及効果測定手法により
- ② 産業連関分析については平成7年埼玉県産業連関表の数値を引用。
- ③ 直接的経済効果（最終需要額）は、全て域内（さいたま市内）に分配されると仮定。
- ④ 一次生産誘発効果から生じる新たな民間消費支出は、全産業に平均的に及ぶものと仮定。
- ⑤ 直接的経済効果を産業連関表の中の4業種（商業・運輸業・対事業所サービス業・対個人サービス業）に分類し、その4業種から一次生産誘発効果が発生すると仮定。

参加者アンケート

A. あなたのことについてお尋ねします。

- 問1 お住まいの市町村をご教示ください。 () 都道府県 () 市区町村
問2 性別をご教示ください。(番号に○をつけてください。) (1. 男 2. 女)
問3 年代をご教示ください。(1. 30歳未満 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60歳以上)

B. 当地での滞在期間及び宿泊についてお尋ねします。

- 問4 さいたま市にお越しになった回数をご教示ください。(番号に○をつけてください。)
(1. 初めて 2. 2回目 3. 3回以上 4. 市内在住 → 4. とお答えの方, 問7にお進みください。)
問5 滞在予定期間をご教示ください。(番号に○をつけてください。)
(1. 2日間 2. 3日間 3. 4日以上 4. 日帰り → 4. とお答えの方, 問7にお進みください。)
問6 宿泊地と宿泊数をご教示ください。(宿泊された方)番号に○を付け泊数をご記入下さい。
(1. さいたま市内に()泊 2. 市外埼玉県内()泊 3. 都内()泊 4. その他()泊)

C. 観光のご予定についてお尋ねします。

- 問7 学会参加と合わせてさいたま市内や周辺観光の予定をご教示ください。(番号に○)
(1. 観光予定あり 2. 予定なし → 2. とお答えの方, 問9にお進みください。)
問8 観光予定の場所をご教示ください。() ()

D. 交通手段と参加費用についてお尋ねします。

- 問9 さいたま市までの交通手段をご教示ください。利用手段すべてに○をつけてください。
(1. 電車 2. バス 3. 自家用車 4. 飛行機 5. その他)
問10 市内で利用されるすべての交通手段をご教示ください。(すべてに○)
(1. JR 2. 私鉄 3. 路線バス 4. マイクロバス 5. タクシー 6. レンタカー 7. 自家用車
8. 徒歩 9. その他())
問11 今回の大会参加費用をご教示ください。予定・概算で結構ですのでご記入ください。

項目	1. 宿泊費	(約)	円
	2. 飲食費	(約)	円
	3. 交通費(お住まいから当地までの往復)	(約)	円
	4. 市内交通費(会場と宿泊地、市内観光)	(約)	円
	5. 土産・買物費	(約)	円
	6. 観光・娯楽費	(約)	円
	7. その他	(約)	円
	総計	(約)	円

*****ご協力ありがとうございました。*****

本日ご記入頂きました方にもれなく粗品を差し上げます。

ご記入いただいたアンケート用紙は、会場出口にありますスタッフにお渡し下さい。
投函をお忘れになった方も、是非 FAX(048-647-0116)して下さるようお願い致します。

コンベンション主催者ヒアリング調査

(1) 会議名称 ()

(2) 主催団体名称 ()

(3) 同本部所在地 ()

(4) 開催会場 ()

(5) 開催日数と参加者数 ()日間 ()人

(6) 開催に要した費用(概算費用をご教示ください。)

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| ① 宿泊費(主催者負担分) | _____円 |
| ② 飲食費(主催者・関係者分、参加者レセプション含む) | _____円 |
| ③ 交通費(主催者関係者の会場間・市内移動など) | _____円 |
| ④ 参加者記念品代等 | _____円 |
| ⑤ 観光・娯楽費(アフターコンベンション、イベント) | _____円 |
| ⑥ 会場費(本会議・分科会・会議室利用費) | _____円 |
| ⑦ 事務局経費(事前会議費、事務用品調達など) | _____円 |
| ⑧ 運営管理費(通訳、翻訳関連、速記、警備など) | _____円 |
| ⑨ 会場設備工事費(看板製作、会場設営) | _____円 |
| ⑩ 機材レンタル費(電話、OA・AV機器、同時通訳機器) | _____円 |
| ⑪ 印刷製本費(広報資料製作費、会議資料作成費) | _____円 |
| ⑫ 運送・輸送費(タクシー、バス借上代、観光視察・招待者移動経費) | _____円 |
| ⑬ 臨時的人件費(受付、事務局スタッフ、コンパニオン等) | _____円 |
| ⑭ その他(上記に分類されない経費) | _____円 |
| ⑮ 総計 | _____円 |

(7) 参加者の開催地までの交通手段の手配方法

1. 主催者 2. 旅行業者 3. 参加者 4. その他()

(8) 企画運営会社(PCO)の活用

1. 活用していない 2. 活用した→会社名をご教示ください。()

***** ご協力ありがとうございました。*****

本日お時間を頂けない場合は、ご都合の良い日時に改めてうかがいます。

FAX(048-647-0116)でも結構です。ご協力下さいますようお願い申し上げます。